

私立高校の魅力向上に係る検討会

少子化等の社会情勢の変化を踏まえ、今後も県内私立高等学校が選ばれる学校となるため、魅力向上に資する取り組みを検討

メンバー

[敬称略]

有識者

兵庫県私学審議会会長
兵庫県立大学副学長 内田 勇人

県

理事 木村 晶子
総務部長 有田 一成
総務部次長 増澤 清嗣
教育課長 宮原 芳文

兵庫県私立中学高等学校連合会

理事長	和田 孫博 (灘)	理事	森谷 典史 (神戸女学院)
副理事長	八代 智 (神戸国際大附)	〃	森田 和子 (神戸海星女子学院)
〃	柳 弘一郎 (蒼開)	〃	村野 利樹 (彩星工科)
常任理事	山内 守明 (甲南)	〃	武井 宏之 (育英)
〃	井上 和彦 (神戸弘陵)	〃	熊見 一郎 (神戸星城)
〃	河野 幸星 (兵庫大学附須磨ノ浦)	〃	摺河 祐彦 (姫路女学院)
		〃	藤村 雄二 (淳心学院)

スケジュール

	時期	内容
第1回	R7.2.14(金)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私立高校を取り巻く環境について、現状認識を確認 ○ 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費・物価高騰への対応や生徒確保対策、熱中症対策等に苦慮 ・ 部活動支援や留学生受入れ、高大連携、不登校支援といった生徒のための支援や経常費や体育館の空調整備等の学校に対する支援を求めるとご意見あり
アンケート	R7.5~7月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全校アンケートを実施 (R7年度入試の状況、各校の魅力・特色ある取組、今後取り組みたいこと 等)
第2回 (今回)	R7.8.27(水)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全校アンケート結果について ○ 意見交換 (魅力向上のために取り組むべきこと、課題、対応策) ⇒ 方向性を共有
第3回	R7.11月頃	<ul style="list-style-type: none"> ○ 検討会報告書(案)の作成 ⇒ R8当初予算編成へ反映

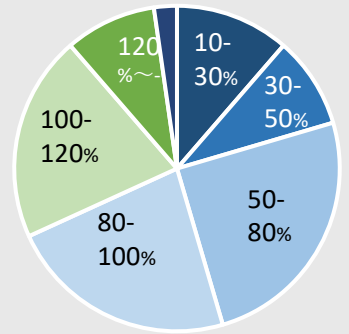
R7年度入試 実施状況

高校入試

※高校募集無し(内部進学のみ) 6校

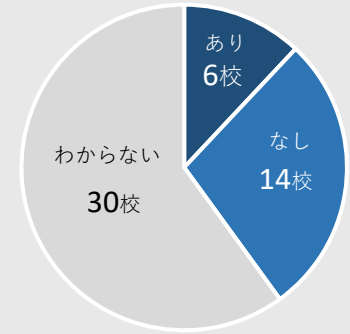
募集定員充足率

定員割れしている学校は、30校



平均：79% (最大校：162% 最小校：14%)

大阪無償化の影響



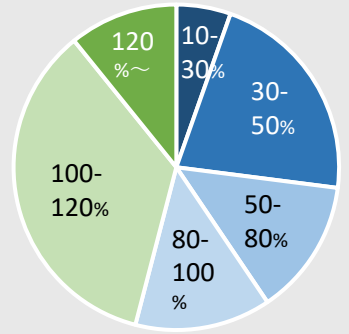
主に県南東部(阪神間)の私学への影響が見られる

- ✓ 大阪府からの志願者・入学者が減少
大阪府に近い学校においては、大阪府からの志願者・入学者が減少している実態がある。
- ✓ 説明会等で大阪府無償化のため兵庫県の高校は選択しないと聞いている

中学入試

募集定員充足率

定員割れしている学校は、20校



平均：82% (最大校：130% 最小校：18%)

その他

入試の傾向

- 少子化による受験者減
- 共学志向が高い(女子校が苦戦)
- 通信制志向の高まり
- 立地(交通の利便性)重視
- 公立志向の高い地域では太刀打ちできない

入試制度

- 県立の複数志願・特色選抜は希望する学校への選択というより、定員充足のためのものでないか。
- 無償化の中、公私協働で入試制度を考えるべき
- 公立高校の開門率が高いため、併願者の実入学者数が少ない
- 私立と公立、公立中と公立高の連携が少ない

行政支援制度の影響

- 隣接府県の支援制度の違いによって、生徒の流入が期待できない。
- 神戸市の通学補助の影響でJR沿線校へ流れている。

授業料軽減

- 国の無償化と県の上乗せ軽減がどう措置されるか大いに期待している
- キャップ制は絶対に避けてほしい

その他

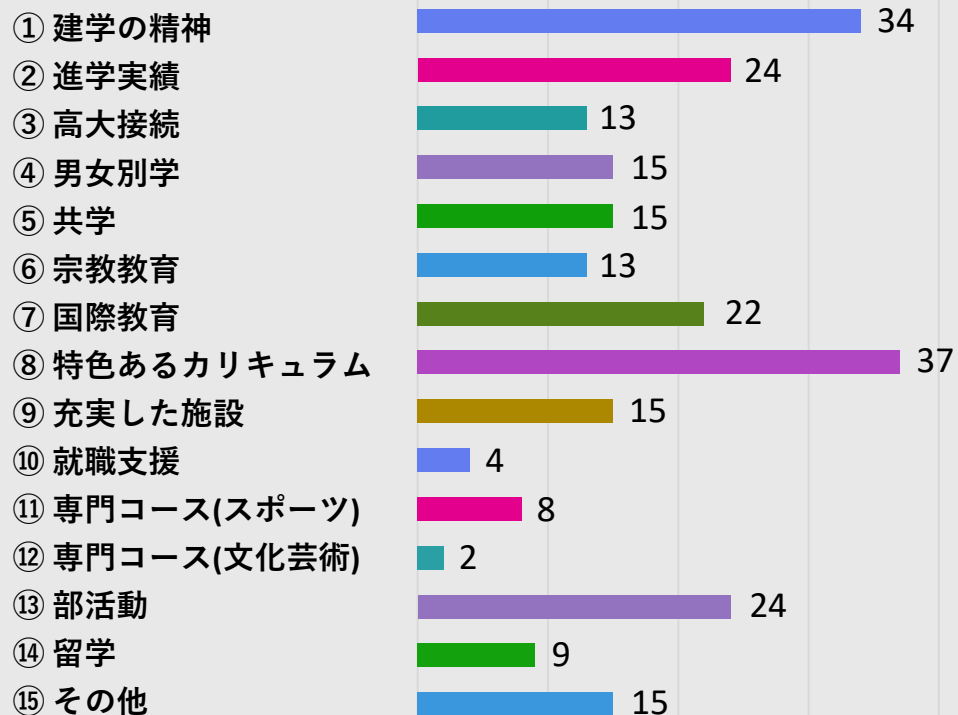
- 学校独自の支援や広報をやりにくい
- 教育を特色化・魅力化し、どうアピールしていくかが重要

私立高校の魅力向上のための取組（全校アンケート結果）

■ 左記に関連する具体的な取組事例等

ひょうごの私学の魅力

各校の強み・魅力



【その他】の内容

- ✓ 校風
- ✓ 利便性
- ✓ 広大な敷地
- ✓ 寄宿舎
- ✓ 自然に囲まれた校舎
- ✓ 海外・国内の研修旅行
- ✓ 中高一貫教育
- ✓ 探究活動
- ✓ DXハイスクール、ICT教育
- ✓ 面倒見のよい教育
- ✓ 少人数教育
- ✓ 学習支援
- ✓ SSH
- ✓ 資格取得
- ✓ 不登校を経験した生徒を対象とする専門教育

② 進学実績

学習支援	放課後の学習支援、学習合宿、補習
------	------------------

③ 高大接続

高大連携プログラム	大学開講授業の受講…大学進学時に単位認定
併設校との連携	大学での見学実習、大学教授の講義、地域貢献活動

⑦ 国際教育

国際教育	・インターナショナルスクールと連携した英語授業 ・英検講座 ・オンライン英会話 ・フランス語必修
海外国内の研修旅行	ホームステイ・ファームステイをしながら、 現地校での授業やアクティビティ体験

⑧ 特色あるカリキュラム

探究	・大学、企業、地域、附属幼稚園、近隣の小学校との連携 ・地域の方に取材
アントレプレナーシップ	企業と連携
キャリア教育	独自の「自己発見プログラム」、社会人準備講座、キャリアデザイン
多様なコース	セカンドキャリアを見据えた特別講座 (栄養学、心理学、コンディショニング等) を実施

⑩ 就職支援

資格取得支援	商業や介護の資格取得
--------	------------

⑬ 部活動

部活動	重点部活動制度、海外の団体と協定を締結し文化交流を実施、大学施設の使用
-----	-------------------------------------

⑭ 留学

留学	・短中長期の留学制度 ・海外大学留学支援 ・海外の提携校(短期交換留学の実施)
----	--

⑮ その他

不登校支援	・特別なカリキュラムや学習環境を整備 ・別室授業・オンライン配信の実施
少人数教育	小規模校で、アットホームな雰囲気の中で、丁寧かつ手厚い指導
その他	・寄宿舎、学生寮 ・独自の奨学金制度 ・農業体験 ・独自設定科目、講座を開講 ・毎週プロジェクトマネジメント・タイムマネジメントの時間を確保し、自己管理・時間管理の能力を涵養

私立高校の魅力向上のための取組（全校アンケート結果）

各校が魅力を向上させるために取り組みたいこと・課題（主なもの）

取り組みたいこと

特色ある教育

- ①探究
- ②グローバル教育
- ③高大連携・企業連携
- ④キャリア教育
- ⑤ICT・情報教育
- ⑥アントレプレナーシップ
- ⑦多様な生徒への支援
(不登校、発達障害、ヤングケアラー)
- ⑧部活動

学校運営等

- ①環境整備
- ②教員の確保
- ③教員の資質向上
- ④広報・情報発信の強化



課題

特色ある教育

- ①探究
- ②グローバル教育
- ③高大連携・企業連携
- ④キャリア教育
- ⑤ICT・情報教育
- ⑥アントレプレナーシップ
- ⑦多様な生徒への支援
(不登校、発達障害、ヤングケアラー)
- ⑧部活動
(生徒の夢・目標への挑戦支援)

学校運営等

- ①資金不足
- ②教員確保が困難
- ③教員の資質向上
- ④広報人材・外部への発信力不足
- ⑤生徒数確保
- ⑥交通・立地条件

- ①～⑥・教育プログラムの質の向上
 - ・教員の質・スキルの向上
 - ・働き方改革との両立
 - ・地域や隣接校等との交流不足
- ②・海外研修費用の高騰 ・通訳人材の確保
- ⑤・ICT支援員の確保 ・デジタル環境整備
- ・不登校支援員/発達障害等支援員の配置
- ・サポート教室の整備 ・学習評価
- ・外部指導員の確保 ・部活動施設整備

- 人件費・物価高騰、老朽化した校舎設備、空調整備、バリアフリー化、トイレ改修、教育充実
- 採用難、定年退職による人材喪失、待遇改善
- 待遇改善、研修機会不足
- SNS等のメディア活用が不十分
- 保護者負担軽減、魅力発信
- 交通利便性の低い場所への立地

私立高校の魅力向上のための取組（全校アンケート結果）

各校が魅力を向上させるために必要な支援

私立高校の魅力を高めるために支援が必要な取組は、学校によって多種多様

⇒ 特色あるカリキュラム（探究/国際交流）、部活動支援（外部指導員）、学校運営（人材確保）、保護者生徒の負担軽減（授業料）が多い

特色ある教育

特色あるカリキュラム	32
探究	6
グローバル教育	16
海外留学支援	4
国際交流	7
留学生受け入れ	5
高大連携	3
キャリア教育	4
アントレプレナーシップ	3
不登校支援	5
不登校支援員	1
別室登校	4
多様な生徒への支援	3
発達障害	3
ヤングケアラー	0
部活動支援	13
外部指導員	12
地域移行	1

教育環境の充実等

学校運営	28
経常費	12
人材確保	12
人材育成	1
広報・情報発信	3
保護者・生徒の負担軽減	11
授業料	6
通学費（定期代・通学バス）	5
施設整備	37
耐震改修	0
体育館の空調	10
LED化	3
バリアフリー	7
トイレ改修	6
ICT・DX	11

私立高校追加アンケート ※43校から回答
「各校の魅力を高めるために特に支援してほしい項目の上位3つを回答」

私立高校の役割

公教育の一翼を担っている	2
特色ある教育を提供し、多様なニーズにこたえている (進路選択の幅が広がる) ・学力 ・多様なコース ・専門教育 ・部活動 ・不登校生徒	27
若年人口の維持定着を図る上で重要な要素であり私立高校の存在は非常に重要	1

私立高校の魅力を高めるために必要なこと

特色あるカリキュラムの拡充	10
進路・キャリア支援の強化	2
時代のトレンドに沿ったAI・デジタルリテラシー教育やグローバル教育の深化	1
進学実績	1
公立との差別化、特色の明確化	2
地域社会との連携(イベント協力、住民への講座開設)	3
魅力を直接知る機会をオープンハイスクール以外につくる	1
交通手段のさらなる確保	1

私立高校への期待

充実した学習環境や教育体制・カリキュラム、進路支援	14
個性適性に沿った教育	6
地域連携・地域貢献	3
地域・高校のブランディングと情報発信	2
OB・OGとのネットワーク	1
中学→高校への連携強化(支援が必要な生徒)	1
公立にできない独自の特色化・ブランディング化	1
市立高校との連携・協力	1

市町→私立高校への支援

進路指導	31	奨学金支援	1
探究活動	6	ふるさと納税	2
通学費支援	3	補助金	1

国無償化への考え

経済的な状況に左右されず希望する教育を受けられることは重要	16
保護者の立場では喜ばしいこと	1
国の責任と財源により措置を講ずるべき	2
公立高校の定員割れや統廃合、地域の活力低下を懸念	10
公立高校の支援・魅力化が必要	3
各地域の実情に応じた対策を検討する必要がある	2
私立高校は都市部に集中しているため、都市部と地方の格差拡大を懸念	1
公立高校の設置意義や利点等を明確化すべき 公立と私立の差別化	1
公立と私立の間の公平性をどう確保するのが課題	1
公私の教育バランスを保つ施策が必要	1
地元から大阪府の私学等に流出する可能性がある	2
大阪府との格差が依然として残り、県内高校の競争力低下に危機感	1
私立高校の教育水準を維持するための有料化は必要	1
無償化により、私立の学費の値上げや塾通いを誘発し、教育費増大を懸念	2
税の再分配の観点から適切な公費の投げ方なのか疑問	1
見解なし	4

大阪無償化の影響

影響はなかった	7
わからない	27
影響があった	0

【特記事項】

現時点でデータ上で目に見える変化はないが、中長期的な影響を強く懸念